

文化を創る、フラッグシップ。

2022 冬

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.32



特集 2022年しずおか連詩の会

GRANSHIP グランシップマガジン vol.32 2022年12月15日発行

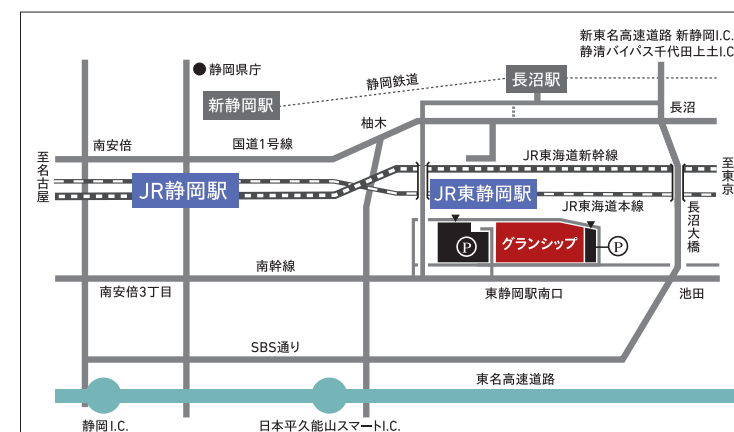
公益財団法人 静岡県文化財団

GRANSHIP サポートズEYE



にっぽんこども劇場 ～浪曲わんだーらんど～

撮影サポーター: 鈴木 勇樹



ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
日本平久能山スマートI.C.から10分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分

GRANSHIP
Shizuoka Convention & Arts Center

ふじのくに
芸術回廊

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団
〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <https://www.granship.or.jp>



2022年しずおか連詩の会

複数人の詩人を迎えて40詩を編む「しずおか連詩の会」。毎回多様な言葉のアーティストが参加し、その時ならではの世界観を創り上げます。今回は、年代や活動のジャンルが異なる5名が参加。次ページでは、全40詩と発表会で語られた詩人たちの解説の一部をご紹介します。

GRANSHIP Special Stage 2022年しずおか連詩の会

Pick up 1
聞き手の想像力を広げる話芸の妙技
グランシップ寄席
古今亭菊之丞×古今亭文菊 二人会

Column
岩下尚史の
伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
Vol.32 還暦後のレッスン

Interview
スペシャルインタビュー・
fox capture plan × bohemianvoodoo
ライヴは生もの。
その日、その瞬間でしか聴けないものがある。
fox capture plan カワイビビヒロ(ベース)
bohemianvoodoo 木村イオリ(ピアノ)



GRANSHIP Event Calendar 2023年1月～3月 グランシップイベントカレンダー

Exhibition
文化・芸術を通して小さな幸せと出会う
新しい年の静岡
1月～3月のイベント情報

Information
静岡県富士山世界遺産センター&
ふじのくに地球環境史ミュージアム

Information
SPAC
『リチャード二世』
遠い昔の遠い国の出来事ではなく、
今につながる物語として
SPAC 秋・春のシーズン2022・2023

Information
静岡県立美術館
近代の誘惑―日本画の実践

Outreach
26
グランシップ子どもアート体験！学校プログラム
ウィーン木管五重奏団 合同練習
27
Information & Communication



表紙の絵



浦田周社 《十国峠の富士》2006年 530×430mm 木版画

〈函南町と熱海市にまたがる峠。その名は十の国が見渡せたことに由来する。本年、山頂に展望テラスがオープン。〉

浦田周社(うらた かねたか)

1939年静岡市生まれ。高校卒業後、家業である浮世絵処「版隈」六世を継ぐ。1976年文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定。浮世絵木版彫摺技術保存協会会員となる。1994年静岡市芸術文化奨励賞受賞。1999年静岡県文化奨励賞受賞。2016年静岡県知事表彰受賞。2019年令和元年度文化庁地域文化功労者表彰受賞。2016年静岡産業大学内に「浦田周社木版画美術館」開館。構想から彫り、摺りまで自らが作品を制作する一方、伝統技法の継承保存や版画の伝承、普及に尽力する。白日会会員、国際浮世絵学会会員、東京伝統木版画工芸協会会員、静岡県版画協会顧問。



信頼と同時に遠慮のなさがあって、次々に連詩を開いていけたことが楽しかった。

暁方 ミセイ
詩人。2012年『ウィルスちゃん』で第17回中原中也賞、2018年『魔法の丘』で第9回鮎川信夫賞、2019年『紫雲天気、嗅ぎ回る 岩手歩行詩篇』で第29回宮沢賢治奨励賞。2回目の参加。



この宴が終わった後の短歌作りは、より一層寂しくなるなと思った。

木下 龍也
歌人。著書は『つむじ風、ここにいます』『あなたのための短歌集』『オールアラウンドユー』など。谷川俊太郎・岡野大嗣との共著に『今日は誰にも愛されたかった』がある。初参加。



みなさんの詩を受けて自分の詩を書く。科学論文の世界と同じだと気づいた。

田中 庸介
詩人、細胞生物学者。1989年「ユリイカの新人」としてデビュー、2022年詩集『びんくの砂袋』で第37回詩歌文学館賞。雑誌「母の友」にも童話を発表。詩誌「妃 kisaki」主宰。初参加。



言葉を受け取って選んでいくうちに、全体が緩い紐で結ばれた気がしました。

堀江 敏幸
作家・フランス文学者・早稲田大学文学学術院教授。著書『おばらばん』『雪沼とその周辺』『河岸忘日抄』『なずな』『その姿の消し方』など多数。大岡信賞選考委員。初参加。



多様性の中の統一性。まさに共同制作の理想とする連詩が巻けた。

野村 喜和夫
詩人。2009年より創作の場をまとめるさばき手を務め、今回で17回目の参加となる。戦後世代を代表する現代詩人の一人。著訳書多数。第4回歷程新鋭賞ほか様々な文学賞受賞。



連詩とは、複数人で短い詩をリレーのようにして連ねていく創作現代詩。連歌や連句の美学を下敷きに、三島市出身の詩人・大岡信を中心に始まりました。大岡信が提唱した「しずおか連詩の会」は、1999年より開催しています。

連詩の会を終えて

23回目となる今回は、5名のうち3名が初参加。各分野で活躍する5名が集まり、創作の場に新たな風を吹き込みました。3日をかけて五行詩・三行詩を交互に作り、読み手の想像力を喚起する全40詩が完成しました。



「光を塗りかえる」の巻 全40詩と解説の一部をご紹介

【第一番〜第五番の解説】

ミセイ：最初の詩は挨拶の役割がありますので、静岡のことを詠もうと思いました。静岡県が金魚の形をしていると知り、まず初めに「金魚」。連詩を提唱した大岡信さんの『方舟』にある一節の「今宵僕は逆さまになって空を歩こう」から、青空に金魚が浮き上がるイメージに。その金魚が秋を運び、空の色を塗り替えるとなりました。

敏幸：「金魚」と「光」で夜祭、その場限りの巫女さんに誘われて祭に入っていく。この季節に静岡に来ることを、「季節が峠を越えてゆく」と表現しました。

喜和夫：「仮面」から「顔」を連想して、アメリカの大詩人エズラ・パウンドの有名な地下鉄の詩を検索したら、「雨にぬれた枝に芽吹いたつばみのようだ」と訳されていた。僕が記憶していたのは、「黒い枝に張り付いた花びら」だったのに、変だな。ネット検索の誤読を詩にしました。

龍也：「詩人」も「ほく」も、精神がおかしくなる予兆なんだと受け取りました。「ようだ」という直喩があることで予兆が起きていると思ひ、直喩を壊して二人を正常に戻そうと。不穏な要素を持たせたまま、次につながれたいと思いました。

喜和夫：この第四番はメタレベルで言葉が付けた、巧みな詩です。木下さんは初参加ですが、なかなかのやり手です。

庸介：現代短歌の世界では、この20年あまり文語・口語論争がなされていますが、「オノマトペは擬態語で文語でも口語でもないのでは？」と、議論を解体する思いで、萩原朔太郎の『遺伝』に登場するイヌの遠吠えを書いてみよう。前詩の「飼犬」につながったなと思いました。

【第十六番〜十七番の解説】

龍也：第十五番の「歌人」と「紫」で紫式部だろうと。以前、紫式部が赤式部と青式部に分かれるという歌を書いたので、今回は紫式部の「部」に注

目して、部活っぽさをいじろうと。ショッキングな映像を撮影した高橋は、人間性が途切れたという詩です。

喜和夫：部活動から王朝口マンへ広げました。紫式部から『源氏物語』の「宇治十帖」の世界を、匂宮と薫を少し変えて出しました。浮舟の悲劇の物語を描いた詩です。

【第二十二番〜二十四番】

庸介：第二十一番の「溶けかけた氷河」という、喜和夫さんの神に対するオマージュを水のイメージで受けまして、ご当地のお話を入れました。静岡県出身の井伊氏の歴史を書きましたが、「井伊氏は見方を変える」といい詩でございます（笑）。

喜和夫：前半にも度々ありましたが、ここでも言語遊戯、言葉遊びの通奏低音が響いていますね。

敏幸：ご当地ネタに対抗意識を燃やして、焼津の小川港さば祭りを使って「鯖読んで」「井伊氏」から井伊直弼の桜田門を出し、「サグラダファミリア」へ展開しました。路面電車で轢かれた男は建築家のアントニオ・ガウディです。

龍也：第二十一番、第二十二番を創作していた時に夕食が「さわか」のハンバーグと発表されまして。それ以降はハンバーグのごで頭がいっぱいになっちゃいました。堀江さんの詩から、ご当地ネタでつながれると思う、三行目を決めてから、ひも解くように二行目、一行目が出来ました。



一	金魚が一匹 青空に体を浸して 光の色を塗りかえる 凶事も吉報も等しく 何もかもことごとく	秋の国に入り ここにおいで	ミセイ
二	夜祭りのにわか巫女に誘われて 薄く灯したアセチレン 仮面をつけて季節が峠を越えてゆく		敏幸
三	のちに精神病院にも入った詩人によれば 地下鉄から出てくる人々の顔が 雨に濡れた枝に芽吹いた蕾のようだと いうんだけど ぼくはてっきり 桜の黒い枝に張り付いた花びらだと思込んでいた	喜和夫	
四	父は比喩を捕まえて殺す仕事をしている 年収一億円 おかげで飼いだは図太く育った	龍也	
五	黄色い悪魔が街を吹き抜ける 口語の時代は去った 「養育費はどちらが持つのか、養育費は」 文語でもなく口語でもなく のをある とをある やわあ※	庸介	※萩原朔太郎
六	親たちではなく世間から遺伝する わたしの仕草や表情は 屋上緑化ビルの林にまぎれて踊る	ミセイ	
七	くずれた眠りをむさぼるあなたの背中で 樹々の影がゆれる 白と黒の魂を バーコードにゆずり まばたきのあいだに世界を剥がすな 来たれゾーネントウルイ！	敏幸	
八	多島海タトゥー タコの仲間のオウム貝は九十個の触手をもつ ことをけさの遠い唯一のことほぎとして	喜和夫	
九	あれは上空の千手観音が見送るしかなかった千一発目 それではみなさんグラスをお持ちください 出身とか経歴とか家族構成とか まだまだ話したいことはございますが この続きは天国で	龍也	
十	鱧の三色揚げ。赤、黄、緑がある。 あるいは赤、緑、黄色。順番に信号がともる、 夕刻。バスが行き交った。順番に。	庸介	
十一	おまえ三角食べができなくて 漢字が覚えられなくて蝶々結びが苦手で 時計がすんなり読めなくて叱られてたよな うん、時計はいまもだよ でも俺のせいじゃなくて目のせいだからな	龍也	
十二	前菜は野菜のテリーヌにしよう 主菜は鴨のコンフィがいい デザートはタルトだ こうして胃袋へと 大いなる選択と結合が果たされてゆく	喜和夫	
十三	汽笛一声 卵橋を叩いて渡った冬の夜 シテ島に向かう銀の船を燃やし 大佐 大佐※ あなたはひとり泳いで帰る ワキを締めた不器用な抜き手で (でもどこへ どの岸へ)	敏幸	※大岡 大佐とわたし
十四	海原で迷子のハトが もう帰る小屋がないのを知らず飛んでいく 羽にはノミ一匹 死んだ友達をそっと落つことす	ミセイ	
十五	巨大な不安と野心 を抱えて歌人はマルセーユ行きの熱田丸に乗った 山形 東京 長崎 なぜにんげんの神経は衰弱するのか あけびの花のような紫	庸介	
十六	野球部の山田に向けて紫式部の佐藤が詠唱を開始 数秒後、山田の胸に世界一短いトンネルが開通 その様子を撮影した映画部の高橋は映画部ではなく高橋をやめた	龍也	
十七	匂ふにせよ かほるにせよ 言葉は 肉から出るから暗いのか 暗いから肉から出るのか あの日たしかに 恋人になりすまし きみの肌と熱く触れ合ひながらも 昼の月にも似て なんと薄い涅槃であつたらうか	喜和夫	
十八	行間にのつとはみでる辭字哉 OCRで読めぬつぶやき あぶりだす果汁の想いも袖にして	敏幸	
十九	熱帯雨林は体をひらき 誰かが残した布の上 鬼火の影絵がひっそりはじまる 観客は狼の幽霊たち ペタペタ拍手し ガムランのα波が森を閉ざす	ミセイ	
二十	松の下に《翁》は舞われ 火の粉に道はふちどられる 極寒の中、神はふたたび家に還る	庸介	

二十一	名前を呼んではいけない者 あるいは呼ぶのがむずかしい者 牧師の息子によって死に追いやられたが その遺骨はオメガのかたちをして なお溶けかけた氷河に噛みつこうとしている者	喜和夫	
二十二	浜名湖から琵琶湖へ 井伊氏は移った 彦根から静岡へ 水を追うはくの旅は続く	庸介	
二十三	余熱の時間を鯖読んで 終わりのない城づくりを軽々しく論じるな 門外漢のサグラダ・ファミリア 聖家族のファミリー・サラダ 路面電車が轢かれても男の石が砕けることはない	敏幸	
二十四	バイトリゲールと不倫している店長と不倫しているエリアマネージャーと不倫しているバイトリゲール この円環をフードプロセッサーにぶち込んでできあがる さわやかとはかけはなれたハンバーグ	龍也	
二十五	古代、不吉の象徴だった虹が 遺跡の真上ハロになってかかっている 太陽光はまんべんなく地上を照らし 自己肯定感つき堅穴式住居の 入居は抽選で	ミセイ	
二十六	私たち 美しい廃屋 床いちめん草に覆われ 内部に野原をかかえてしまったような 私たち 悲しいまでに美しい廃屋	喜和夫	
二十七	つづら折りを下っていくと 餃子の形をした村に出た あらかじめ細部までを予感していた、きのうの夢で。 《山》はすべてを見通している 《山》にすべては見通されている	庸介	
二十八	わさびの幸せ わびさびの詩あわせ 澄んだ水の吐息がありさえすれば みどりを染め出すのにみどりはいらぬ	敏幸	
二十九	海老みたいだろ、と巨人は言った 汗と涙と鼻水とよだれが最高の調味料さ、とも アルコール消毒された大きな手がリクルートスーツをむいてゆく (あ、海老知ってるんだ)とか(消毒するんだ)とか一応思っただけど 思っても言わないのが大人でちゃんと大人をやれたおれナイス	龍也	
三十	「どなたもどうかお入りください。決してご遠慮はありません」※ という文字が彫られた大岩の下 狭い洞がある 覗き込むと二〇二二年の私が一時保存される	ミセイ	※庶民難治 注文の多い料理店
三十一	そのとき真の深淵がはじまり 他界まで真つ 青な百年がつづいている としよう 数えるまでもなく乳房はふたつ 水は暗く砂はひと握りのまま 母よ亡き母よあなたはどこに隠れているのですか	喜和夫	
三十二	誘う波の世も詳らかに 細雪は降りしきる 灯台守の冬のまわりを	ミセイ	
三十三	ひろったキャッシュカードの名義がノブナガオダだったの それでね、明智が四桁の数字をずっとしゃべってるの と恋人からLINEが来たが明智はジャンガリアンハムスターだ これで資金はどうにかなる 結婚しよう	龍也	
三十四	ふすだしうをつまんだ指をはぐしながら 偽の楽焼きの底で 利休のねずみが終い湯を浴びている	敏幸	
三十五	低く身を沈めること。 荒れ野の中に。 雨のあと、 野水がたまり、いずれ土に吸いこまれる。 農家の庭から、砧を打つ音がきこえる。	庸介	
三十六	だが 跳躍だ 思い出す 夕暮れどき 首を 刎ねられた 鶏が 血まみれに なりながら 痙攣的に 走っている 跳躍だ 跳躍せよ	喜和夫	なおも
三十七	地平線はグリーンフラッシュ まぶたの中でも燃え盛り明るい 宴の丘にまた起こる笑い声 つかずはなれず 風変わりな一団がゆく	ミセイ	
三十八	言葉と翼 かつて前者を放棄した鷹が見下ろす かつて後者を放棄した我々の林檎飴を	龍也	
三十九	たがいの影を懐紙にくるんで あまく煮詰めた風のなか パンタグラフの伝える軋みの讃を投げよう 鶴の目の届かない 明日に向かって	敏幸	
四十	幻想の管弦楽の鳴り響く夕べ 久能山 いや マッターホルンの頂に 赤いエクスタシーが立つ	庸介	

創 作 2022年11月3日(木・祝)～5日(土)グランシップ 発表会 2022年11月6日(日)グランシップ11階会議ホール・風

2022年しずおか連詩の会 創作現場&発表会 潜入レポート



街路樹が秋色に染まる11月6日(日)。開場前からお客さまが訪れ、高校生の姿も多く見られました。発表会の第1部は、作者自身が気持ちを込めて朗読しました。第2部は、作品を紐解く解説。例年にも増して丁寧な解説する姿に、前のめりで聞き入るお客さま。壇上と客席とが溶け合うような一体感が生まれました。



創作2日目。張り詰めた緊張感はなく、どことなく優しく、「知」の空気が漂う創作部屋。ちょうど第17詩が完成し、作者の野村宗匠が、「連詩では必ず恋の詩を入れる」と解説していました。各々が席についてお話し止まず、語源の話に展開。こうした雑談からも幾つかが詩が生まれました。

を使ってポエティックに。「赤」には、井伊氏の「赤備え」やいい詩の守り神になしてほしいという祈りも込めて。

「第三十番の解説」
ミセイ：創作中に、「まるで『注文の多い料理店』だね」という会話が聞こえてきて、小説に登場する言葉から始めました。「一時保存(セーブ)」とは、ゲームのルールの一つで、セーブしておけば、間違えてもそこからやり直せるというもの。以前、福岡県にある神社で祈願した時に、自分の人生にこのセーブポイントだと思ったことを思い出して書きました。

【第三十六番～四十番の解説】
喜和夫：第三十五番の「低く身を沈める」「土に吸い込まれる」から、跳躍したいという衝動が湧き起こりました。僕は農家の生まれなので、その風景も織り込もうと。二フトリの姿に自分の晩年を重ね、「飛躍」に希望を込めて。大団円への願いも込めて、バトンを託しました。

ミセイ：「跳躍」はまさしく連詩に必要なことなので、そのコツとして「つかずはなれず」を詠み込もうと思いました。「宴の丘」はこの連詩の会のこと。「つかずはなれず 風変わりな一団がゆく」は完全に私たちのことで、もともとは「珍妙な一団」でした(笑)。

龍也：「つかずはなれず」は、嬉しかったけど少し恥ずかしさもあって、我々がつないできた言葉と翼を置いて、この一団を上空から俯瞰してみようと思いました。第三十七番を受けて「我々の林檎飴」は夕日が沈んでいくイメージです。

敏幸：「風変わりな一団」を上空から俯瞰しようとした木下さんも放さず、まとまりつつも一人ずつの影だったという解釈から始めました。創作部屋の窓から線路が見えて、電車のパンタグラフの軋む音が聞こえていたので、それを我々に対する讃と見なし、明日に向かって言葉を投げたいという思いから、「讃を投げよう」としました。

庸介：全詩を読み返しているうちに、詩を育ててきた気がして、詩の魂を天に上らせることが拳句のすべきことだと思いました。堀江さんの「軋みの讃」のイメージをいただいて、まだ登場していなかった音楽やミセイさんが出しきれなかった「赤」

vol.32 還暦後のレッスン

年をとるのは難しい。
さすがに還暦を過ぎる頃から、のんきな私もそれに気づいて途方に暮れています。

その日その日を五十年あまりも送ってれば、誰もが老人にはなります。近頃では高齢者とも呼ぶそうですが、どちらも同じように即物的で救いのない、厭気（えんき）のする言い方です。

イヤだと言っても、周囲から、年寄と認められるには修行が要ります。

と云うのは、年寄と云う語の本来は、自らの体験から形成された智慧と胆力とを備えた人物への敬称なのです。

これをたどれば、中世の宮中において天子の相談に与った年寄衆、のちの徳川幕府では若年寄や御年寄など政務を執る役名となったのみならず、町や村の指導的立場にある者も年寄と呼ばれ敬われました。それが今では、引退した力士のほかに、どこか負の印象の濃い二文字となったのは残念です。

しかし、相撲部屋に入門した誰もが年寄の株を持つことは出来ないのと同じく、私たちの人生においても、老いたからと言って、必ずしも年寄になるとは限らない

ことは寂しく、切ないことであります。

などと、今さら気を腐らせていても仕方がないので、老いるにつれて溜まりに溜まった我楽多（がらくた）を片づけようと、久しぶりに納戸に入ったところ、今は亡き各界の名人上手の録音録画が壁いっぱい、天井まで届く三つの棚にぎっしり並ぶのを見て肝を潰しました。

若い頃には情熱を以て集めた宝物も、今から見れば煩悩をまのあたりにするようで気味が悪くなります。

ものずきな若い人の顔を幾つか思い浮かべ、そつくり引き取らせようと思ひ決め、せめて名残りにと、棚に伸ばした手にまかせ、録画の一本を取り出しました。

それは梨園の名優の、当時三十になるやならずの舞台でしたが、これを数十年ぶりに見返しますと、あまりにみごとな芸であったことに愕（おどろ）いたことです。巻き返して三たび、堪能したくらいですから。

あの年齢で、あのように戯曲を味読して、そこで素直に承け取った靈感を自在に働く若き身体に生かし、躍動美（えつどうび）のなかに役の性根（きょうこん）が閃くのです。

そつして創り上げた絢爛たる虚構のな

かに、少しの嘘もありません。役と自身とが人格的に統一して、三十そこらで、はやくも至芸の域に到底していました。

その舞台を実際に見た数十年前よりも、年を重ねた今みますと、当時は花形であった俳優が、いかに傑出していたかが分かります。

ふと魔が差して、再び納戸へ入り、その俳優が数十年前に同じ役をつとめた時の録画を探し、見比べて見ることにしました。

すでに還暦を過ぎた頃に撮影された俳優は身体が辛いのか無精になり、何とはなしに傲慢不遜の色が目立ち、役の性根など、どこか置き忘れたかのようにでした。

これを昔の芝居道では、仕勝手に崩したとも言っのですが、芸とはじつに怖ろしいものです。

いわゆる伝統芸能であっても、年を重ねれば芸が上がるとは限らず、逆に落ちる場合もあるのは、私どもの住む世の中と少しも変わりません。

おそまきながら私は、愛嬌のある年寄になる稽古を始めました。

伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。

岩下尚史



TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。
作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。

岩下尚史（いわした ひさふみ）…作家、國學院大學客員教授、新橋演舞場（株）退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞を受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を基に書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊「美しいキモノ」（ハースト婦人画報社）、「北國新聞」にてエッセイを連載中。また、現在、新刊発表に向け、鋭意執筆中。



古今亭文菊



古今亭菊之丞

グランシップ寄席

古今亭菊之丞×古今亭文菊 二人会

古典落語を端正に物語る名手二人が魅せる
正統派江戸落語

毎回完売の人気企画「グランシップ寄席」。今回は、古典落語の若き名手として高く評価される古今亭菊之丞さんと古今亭文菊さんが登場します。ともに二代目古今亭圓菊師匠（島田市出身）に入門した兄弟弟子。菊之丞さんは、2017年以来となるグランシップでの高座です。日本舞踊の素養を持ち、柔らかな物腰や歌舞伎俳優を思わせる容姿で着物を着こなす姿に女性ファンも多い一方、艶のある巧みな語り口は、「江戸の粋を感じさせる」と往年の落語ファンを唸らせる実力の持ち主です。

菊之丞さんの弟弟子にあたる文菊さんは、学習院大学文学部を卒業後に入門して以降、NHK新人演芸大賞を受賞するなど注目を集めてきました。2012年には先輩28人を抜いて真打に昇進したことも話題に。その後も第70回文化庁芸術祭大衆芸能部門優秀賞をはじめとする華々しい受賞歴を重ね、次世代を担う落語家として期待されています。江

戸の情景や登場人物の心の動きを繊細に表現し、心地よく、テンポの良い語り口が魅力です。

それぞれの持ち味を楽しみながら、しつとり落ち着いた正統派の落語を味わえる、注目の二人会。落語ファンはもちろん、落語を初めて聞くピギナーの方にもおすすめです。春の一日、江戸の世界や人情の機微を心ゆくまで味わってみませんか。



2017年「グランシップ寄席」の様子

グランシップ寄席 古今亭菊之丞×古今亭文菊 二人会

3/12(日) 14:00開演 ■6階交流ホール ■一般3,800円 こども・学生1,000円

〈出演〉古今亭菊之丞、古今亭文菊

なぜ、「寄席（よせ）」と呼ばれるの？

路上で行われていた芸能が特定の場所で演じられ始めたのは、江戸時代の半ばのこと。講談や落語などの興行が催される演芸場は、「講釈場」、「寄せ場」と呼ばれるようになり、このうち「寄せ場」が「寄席」などと略されるようになったそうです。その後、江戸だけでなく大阪でも人気を得て、芝居と並ぶ娯楽の中心となりました。 ※江戸時代は「大坂」と表記されることが多かったため、大阪の表記は「大坂」。

最新情報は
こちらから



ライブは生もの。
その日、その瞬間でしか聴けないものがある。
fox capture plan カワイヒデヒロ(ベース)

都内でも見れない、
特別なツアーマンだと思う。
bohemianvoodoo 木村イオリ(ピアノ)



ジャズのエッセンスを匂わせながらも、ロックを中心にあらゆる音楽を融合したジャズ・ロック。
その代名詞ともいえるfox capture plan(以下fox)とbohemianvoodoo(以下bohe)。
3月のライブを前に両バンドのインサイドに迫りました。

グランシップでの5年前のライブを思い出し、「ノリが良かった!」と話してくれたカワイさん。初めましての木村さんに静岡の印象を聞くと、「静岡おでん」と回答。ハッとしたカワイさんが、「『さわやか(※)』にめちゃくちゃ行きます!」。グルメネタで会話も温まったところで、バンドのお話へ展開!
※炭焼きハンバーガーさわやか

— まずは、それぞれのバンド結成について教えてください。

木村 じゃあ、boheから。ギターのbashiryと私で「何かやろうか」って話になって、知人のミュージシャンを集めてライブをしたのが始まりです。私もbashiryもジャズをやっではいましたが、バンドでやったことはなくて、ジャズ系のバンドにしたい思いはありました。結成は2008年です。

— ということは来年15周年。アニバーサリー企画などありますか?

木村 はい。第一弾として、年明けの1月7日にビルボードライブ横浜で、結成15周年ニューイヤールライブを行います。アルバムも作りたいですね。

カワイ foxは、僕とピアノの岸本との「人と違うことをやりたい」という話から始まって、「いいドラマーが見つかったらバンドをやろう」ということで、2、3年後に井上と出会い、スタジオで合わせるところから始まりました。ジャズのスタンダードで合わせた

ら全然面白くなくて、オリジナル曲にしたらしくりきて。ワンマンライブ、いきなりやつちゃうぜ!」って結成した感じです。

— バンド名も個性的ですね?

木村 bohemianは「自由奔放」。voodooは、ライブを儀式に例えてbohemianvoodooで、自由にみんなで火を囲んで楽しもうというイメージ。ボヘミアン調の曲をやりたいなどの深い意味はないから、「バンド名のわりに爽やかな曲だね」って言われます。

カワイ バンド名を考えている時に、岸本がテレビで、未解決事件簿のグリコ・森永事件を見て「ギツネ目の男: キツネ:」という発想で。キツネは神秘的な存在でもあるから、「未知の音楽を捕まえる計画」として、fox capture plan。

— 音楽性でのこだわりは?例えば、boheの曲はメロディアスで心模様を描くような音遣いが印象的でした。

木村 おっしゃるとおりで。メロディに対してエモーションなコード進行を当てるという作業は、無意識にやっているかもしれないです。それが自然とバンドのスタイルにつながっているかもしれないですね。

— インストだから歌詞がないけど歌詞が見える、ストーリー性も感じるような…。メロディーの力なのかなと思

いました。foxはどうですか?

カワイ 初期の頃は、特にリフ(※)推しの曲が多かったですね。ミマルなフレーズを次々に重ねたり、抜き差ししたり。

※主(リフ)。主に短くて簡単な作りのフレーズを繰り返す演奏法

— 確かに、リフが特徴的です。

カワイ 最近では、初期のリフをブラッシュアップした「fox節」を狙って入れている感じ。例えば、歌えるリフとか。そのほうが印象に残るかなと思って。

— その特徴を踏まえた上で、バンドらしさを感じる曲は?

カワイ boheは『Adria Blue』じゃない?

木村 そうですね。YouTubeのミュージックビデオの再生回数も伸びてるし。この曲は、リズムも含めて異国風な感じがboheらしいなって気

がします。もともとbashiryが、『オリーブの木』って仮タイトルで持ってきて…
カワイ だせえ(笑)
木村 それはないでしょ!(笑)結局、アドリア海の青のイメージをタイトルにしました。

— 静岡のライブでやりませんか?

木村 やります!ライブでは必ずやる曲なので。

カワイ MCで仮タイトルのこと、いじっちゃうかも。

— いろんな意味で楽しみです!
foxの、らしい曲は?

カワイ 『疾走する閃光』かな。6年ほど前の曲ですけど再生回数がいまだに伸びていて。当時、四つ打ちダンスロックが流行っていて、「しっくりきたから作ってみた」と岸本が言っていた。リフがメロディーのサビのようになっていて、転調しながら展開していく。ビートの疾走感と相まった独特なノリの曲です。

— 同じレーベルで音楽ジャンルも近いですが、互いの活動が刺激になったりしますか?

カワイ 曲は気になりますよね。実際、いい曲を書くなって思いますし、自分にはないエッセンスだと思うので、そういう意味ですごく刺激になります。

木村 レーベル内の他のバンドってあまり意識しないでですけど、foxのMVは見たり、ライブに遊びに行ったりします。



— 来年3月のツアーマンライブが楽しみです!

カワイ グランシップは5年ぶりなので、当時来てくれた方がまた来てくれるかな?って期待感もあるし、初めての方にも会えたら嬉しいです。音楽はストイックな感じですけど、メン

バーのキャラクターはすごい緩いので、その辺のギャップも楽しみにしつつ、気軽に来てほしいですね。

木村 foxとのライブは久々だし、こんなに大きなホールで、都内でも見れない特別なツアーマンだと思います。地元の方はもちろん、近隣都県の方もこの機会を逃すことなく集まってほしいですね。

— 最後に、冊子の愛読者の方にメッセージをお願いします。

木村 boheのライブは、10代〜70、80代まで、年齢も性別も問わずいろんな方に来ていただいている、どなたでも楽しめる雰囲気だと思います。気軽に、普段着でいいので、ぜひいらしてください。

カワイ 日頃、インスト音楽に触れる機会は少ないと思うので、これを機に、楽器だけの音楽ってどんな感じだろう?って、聴いてみてほしいですね。歌詞がない分、聴いたままの世界観がそこにあって、聴いた人の感じ方で自由に解釈してもらえる。身構えず、音楽を純粹に楽しむ感覚で足を運んでもらいたいなって思います。

普段から仲が良いというお二人。午後6時からの取材ということで、終わってから飲みに行くような気配も…。時々お酒を想像しながら!楽しいお話を聞かせてくれました。

3月は、静岡のおいしい食べ物やお酒もぜひ。



fox capture plan

(左から)カワイヒデヒロ(ベース)、井上司(ドラムス)、岸本亮(ピアノ)

“現代版ジャズ・ロック”をコンセプトに情熱的かつクールで新感覚なピアノ・トリオを目指し、個性の異なるバンドで活動する3人が集結。FUJI ROCK FESTIVALやSUMMER SONICなどに出演。



bohemianvoodoo

(左から)Nassy(ベース)、木村イオリ(ピアノ)、bashiry(ギター)、山本拓矢(ドラムス)

印象的でエモーションなメロディーと爽快なドライブ感。楽曲から様々な景色がイメージされる、4人編成のインストバンド。BLUE NOTE TOKYO、TOKYO JAZZ FESTIVALなどに出演。

グランシップ ジャズ・ロックライブ fox capture plan × bohemianvoodoo
3/4(土) 17:00~ ■大ホール・海 ■一般3,500円 こども・学生1,000円

1/21【土】

グランシップ企画事業

舞台

グランシップ静岡能

■中ホール・大地 ■14:00～ ■一般5,500円 こども・学生1,000円

グランシップでは4年ぶりとなる観世流能楽師による公演。2023年の大河ドラマで改めて注目を集める江戸幕府初代将軍・徳川家康が実際に舞ったとされる演目「松風」と、ダイナミックな動きが魅力で華やかな「土蜘蛛」を上演。

〈演目〉能「松風 戯之舞」
シテ山階彌右衛門
能「土蜘蛛」
シテ観世三郎太
狂言「樋の酒」 三宅右近



「松風」



「土蜘蛛」

撮影：前島吉裕

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/22【日】

グランシップ企画事業

音楽

【グランシップ出前公演(三島市)】

オーケストラ・アンサンブル金沢 名曲コンサート チェロ：宮田大

■三島市民文化会館 大ホール ■14:00～ ■S席4,800円 A席3,800円 こども・学生1,000円

国内外の精鋭奏者が集結し、第一線で活動を続けるオーケストラ・アンサンブル金沢が気鋭の指揮者・角田銅亮と生み出す極上の響き。宮田大、渾身のカバレフスキーは必聴です！

〈曲目〉
ドビュッシー：小組曲
カバレフスキー：チェロ協奏曲
第1番 ト短調 作品49
(チェロ：宮田大)
モーツァルト：
歌劇「フィガロの結婚」序曲
モーツァルト：
交響曲第41番 ハ長調 K.551
「ジュピター」



指揮：角田銅亮



チェロ：宮田大



管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000

2/3【金】～6【月】

展示

令和4年度
静岡県高等学校総合文化祭
特別支援学校専門部
第33回特別支援学校高等部
合同作品展

■6階展示ギャラリー1 他
■10:00～17:00(最終日は10:00～12:00)
静岡県高等学校文化連盟
特別支援学校専門部
tel.054-636-1891(事務局：藤枝特別支援学校)

2/5【日】

音楽

Dance Studio VIBE
presents the showcase
「VIBES!!」vol.11

■中ホール・大地
■第1回13:30～ 第2回17:00～
■2,000円
Dance Studio VIBE tel.054-284-9052

1/31【火】

就職

静岡労働局
地域別就職支援事業
小規模企業説明会

■10階1001-1会議室 ■13:30～16:00
(株)東海道シグマ tel.0120-034-036

2/1【水】

イベント

令和4年度
第35回静岡県中部高等学校
定時制通信制生徒合同文化祭

■中ホール・大地、6階展示ギャラリー1
■展示13:00～19:45
ステージ18:20～20:00
静岡県中部高等学校定時制通信制
生徒合同文化祭実行委員会
tel.054-209-1814(静岡中央高校定時制)

1/22【日】

舞台

市川幸子フラメンコ教室Zarcillo
教室発表会

■中ホール・大地 ■15:00～
■前売2,000円 当日2,500円
市川幸子 tel.090-1858-3683

1/24【火】

就職

若年者就職フェア in しずおか

■大ホール・海 ■13:30～16:00
■20日14:00～19:00 21日10:00～19:00 22日10:00～17:00
静岡新卒者等人材確保推進本部
(静岡労働局・ハローワーク・静岡県等)
(株)東海道シグマ tel.0120-034-036

1/28【土】

就職

マイナビ転職フェア静岡

■大ホール・海 ■11:00～17:00
マイナビ転職フェア運営事務局

2023年1月～3月

グランシップイベントカレンダー



グランシップホームページ
イベントカレンダーTOPへ

グランシップ企画事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、公演・イベントを中止する場合や、公演内容・お客様へのお願いを変更する場合があります。必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。なお、貸館催事の実施につきましては、それぞれの主催者にお問い合わせください。

2023年1/1(日・祝) グランシップ初日の出特別開放は行いません。

1/13【金】

グランシップ企画事業

音楽

静岡ガスPRESENTS

グランシップ&静響ニューイヤーコンサート

■中ホール・大地 ■昼の部14:00～ / 夜の部18:30～ ■2,000円

※事前申込は10/31で受付終了。抽選後、期日までに手続きが完了されないチケットを一般販売。
一般販売：12/9～先着順(1人4枚まで、座席は選べません)※予定枚数に達し次第、予告なく販売終了します。

世代を超えて親しまれる華やかな名曲を、目覚ましい活躍で注目される原田慶太楼と、「歌うヴァイオリン」とも評される名手・大谷康子が、静岡を代表するオーケストラ静響とともに彩ります。

〈曲目〉
サラサーテ：
カルメン幻想曲op.25
ツイゴイネルワイゼンop.20
J.シュトラウス2世：
ワルツ「美しく青きドナウ」他



指揮：原田慶太楼



ヴァイオリン：大谷康子



管弦楽：富士山静岡交響楽団

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/20【金】～22【日】

展示

キャプテンサント静岡フェア

■6階展示ギャラリー3
■20日14:00～19:00 21日10:00～19:00 22日10:00～17:00
(有)シスターズ tel.0266-58-9770

1/21【土】

就職

令和4年度「保育のお仕事フェア」

■大ホール・海 他 ■13:00～16:00
しずおか保育士・保育所支援センター
tel.054-271-2110

1/14【土】

その他

第11回静岡県看護学会

■10階1001会議室 他 ■10:00～16:30
■事前申込/会員2,750円 非会員4,950円 学生550円
当日受付/会員4,950円 非会員5,500円
(公社)静岡県看護協会 tel.054-202-1760

1/20【金】

就職

ミドル・チャレンジ合同企業相談会

■6階交流ホール ■13:30～16:15
ハローワーク静岡 tel.054-238-8601

3/4[土] [グランシップ企画事業](#) [本誌P10-11のインタビューをチェック！](#)

グランシップ ジャズ・ロック ライヴ fox capture plan × bohemianvoodoo

■大ホール・海 ■17:00～ ■一般3,500円 こども・学生1,000円

新しいジャズシーンを席卷するレーベルPlaywrightから、現代版ジャズ・ロックを掲げ、話題作を次々生み出す情熱的かつクールで新感覚なピアノ・トリオと、美しいメロディと爽快なドライブ感の織りなすドラマティックなサウンドで魅了するメロディアス・インストバンドが贈る、大空間を生かした特別なステージ！

出演：
fox capture plan
カワイヒデヒロ（ベース）、井上司（ドラムス）、岸本亮（ピアノ）
bohemianvoodoo
Nassy（ベース）、木村イオリ（ピアノ）
bashiry（ギター）、山本拓矢（ドラムス）

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



fox capture plan



bohemianvoodoo

3/12[日] [グランシップ企画事業](#) [本誌P8の詳細をチェック！](#)

グランシップ寄席 古今亭菊之丞 × 古今亭文菊 二人会

■6階交流ホール ■14:00～ ■一般3,800円 こども・学生1,000円
端正な顔立ちと柔らかい物腰・艶っぽい語り口が人気の古今亭菊之丞と、28人抜きで真打ちに昇進・若手実力派の古今亭文菊、人気実力とも兼ね備えた兄弟弟子による華のある二人会をお楽しみに。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



古今亭菊之丞



古今亭文菊

3/24[金] [就職](#)

福祉・介護業界就職セミナー静岡会場

■大ホール・海 ■13:00～17:00
(株)マイナビ静岡支社 tel.054-275-3200

3/25[土] [講演会](#)

グランシップ文化講座「新型コロナウイルスとは何か」

■11階会議ホール・風 ■13:30～
■〈会場・オンライン受講同額〉
一般1,000円 学生500円(28歳以下) ※高校生以下無料
※事前申込制 1/20(金)より受付開始(先着順、定員になり次第締切)

講師：国立遺伝学研究所 人類遺伝研究部門 教授 井ノ上逸朗
毎週、静岡県の新型コロナウイルスのゲノム塩基配列を決定している国立遺伝学研究所教授の井ノ上先生を講師に迎え、COVID-19がどのように始まったのか、発生当時はわからなかったこと、今わかっていることなど科学的な見地から、私たちのすぐそばにあるウイルスの存在に迫る。
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/26[日] [展示](#)

ふわりいランドセル展示会

■6階展示ギャラリー3 ■11:00～15:00
(株)協和 tel.0120-415-991

3/26[日] [舞台](#)

第19回リュミエル新体操演技発表会

■大ホール・海 ■14:30～
リュミエル tel.090-3257-2600

3/31[金] [就職](#)

～YourLife静岡エリア～高校生のための合同企業説明会

■大ホール・海 ■13:00～16:00
静岡県中小企業家同友会 共同求人委員会YourLife tel.054-663-1100

3/17[金]～21[火・祝] [展示](#)

Leaf & Jade in SHIZUOKA

■6階展示ギャラリー1 ■11:00～20:00(17日のみ16:00～20:00)
(株)ビジュード 東日本 tel.052-232-2230

3/18[土]・19[日] [展示](#)

ジョイフル恵利新作振袖展示会

■6階展示ギャラリー3 ■10:00～18:00
ジョイフル恵利静岡店 tel.0800-200-7537(054-262-7027)

3/18[土] [音楽](#)

第1期グランシップ登録アーティスト ファーストイヤー公演 あなたと出会うコンサート

■6階交流ホール ■14:00～ ■全席自由・入場無料 ※3歳以下入場不可
※事前申込制 1/10(火)より受付開始(先着順)
【申込方法】専用WEB申込フォーム、または電話
出演：第1期(2022-2024年度登録)グランシップ登録アーティスト



ALBOST trio(ピアノ・パーカッション・マリンバ)



Duologue(フルート・ピアノ)



TrioWINGS(サクソフォン・サクソフォン・ピアノ)



ミナトニカ(ヴァイオリン・サクソフォン・ピアノ)

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/19[日] [就職](#)

マイナビ看護学生就職セミナー

静岡会場

■大ホール・海 ■13:00～17:00
(株)マイナビ静岡支社 tel.054-275-3200

2/19[日] [舞台](#)

2023 Nakagomi Dance School Party

■6階交流ホール ■13:00～
中込ダンススクール tel.054-281-0335

2/20[月] [その他](#)

令和4年度

「体力アップコンテストしずおか」

表彰式

■中ホール・大地 ■13:30～17:00
静岡県教育委員会 健康体育課
tel.054-221-3123

2/10[金]～12[日] [展示](#)

静岡デザイン専門学校

卒業制作展

デザイン ア・ラ・モード2023

■中ホール・大地 他
■10:00～18:00(最終日は10:00～17:00)
静岡デザイン専門学校 tel.054-252-1766

2/18[土] [講演会](#)

静岡大学発酵研・

連続講座2022

「酵母とワイン文化」セミナー

■10階1001-1会議室
■10:00～16:00
静岡大学
発酵とサステナブルな地域社会研究所
tel.054-238-4975

2/5[日] [舞台](#)

【グランシップ提携公演】

ミュージカル

「Williams Express」

－見つけられた日記－

■6階交流ホール ■14:00～
■指定席4,000円 自由席3,500円

考古学者ドイルがシェイクスピアの謎を解くべく彼の日記を求めて特急列車に乗ると、次々に起こる事件！オペラとジャズで彩られた360度舞台のオリジナルミュージカル。



主催：かなりあ音楽堂 tel.090-7610-7467(小野)

2/23[木・祝] [グランシップ企画事業](#) [舞台](#)

【グランシップ出前公演(下田市)】

につぽんこども劇場～浪曲わんだーらんど～

■下田市民文化会館 ■13:30～/15:30～ ■大人1,500円 こども500円

身振り手振りに、キレのいい語り！三味線の音色にのせて、物語のキャラクターが生き生きと動き出す！親子で日本の文化を楽しんで学ぼう♪

出演：玉川奈々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師)
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000



2/26[日] [講演会](#)

令和4年度 訪問事業における

連携強化と在宅医療の推進シンポジウム

■10階1001-1会議室 ■13:00～16:00
静岡県リハビリテーション専門職団体協議会 tel.054-275-2985

2/26[日] [舞台](#)

Legally Blonde Jr.(リガリーブロンド ジュニア)

■中ホール・大地 ■18:00～
■前売り3,000円 当日4,000円
NPO法人アドリメイト studio.theatreproject@gmail.com

2/24[金]・25[土] [展示](#)

ファランドール(花もめん)スプリングフェア

■6階展示ギャラリー2
■24日10:30～17:00 25日10:00～16:00
ファランドール tel.0120-771-908

2/26[日] [就職](#)

令和4年度 冬・SHIZUOKA福祉の就職相談会

■大ホール・海 ■13:00～15:30
静岡県社会福祉人材センター tel.054-271-2110



Art@東静岡

2022年度後期展示

Requiem - 鎮魂歌 -

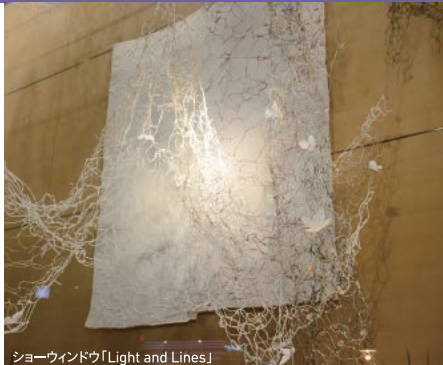
森 妙子

開催中～2023年3/6(月)

※休館日を除く

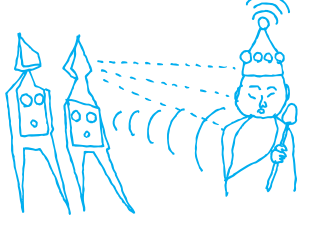
観覧
無料

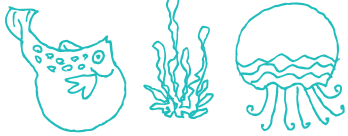
グランシップ ショーウィンドウ、エントランスホール、
3階エスカレーター付近 他

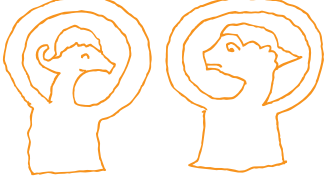


ショーウィンドウ「Light and Lines」

開催中～1/29[日] 9:00～16:30 コメ作りの考古学と民俗学 静岡市立登呂博物館 一般300円、高大生200円、小中生50円 市内70歳以上・小中生・未就学児無料 【問】静岡市立登呂博物館 tel.054-285-0476	3/10[金]～12[日] 10:00～17:00(12日は16:00まで) ロイヤルタティングレース講座 聖光院有彩門下生作品展 富士宮市民文化会館 無料 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237	2/19[日] 17:30～ 布施明 AKIRA FUSE LIVE TOUR 2022-2023 よみがえれ昔日(せきじつ)の情熱 三島市民文化会館 7,500円 ※未就学児入場不可 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455
開催中～2/19[日] 9:30～17:00 企画展 「大きくしてみた!～大きくすると見えてくる～」 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	3/12[日] 14:00～ 富士宮市市制施行80周年記念 富士山ユースオーケストラ 第11回定期演奏会 富士宮市民文化会館 無料 【問】富士宮市文化課 tel.0544-22-1106	
駿府城公園にある「家康手植えの蜜柑」		年賀状の「初春」「迎春」とは？
徳川家康公が駿府城に隠居の折、紀州から献上された鉢植えのみかんを本丸に植樹したと伝えられます。「ほんみかん」と呼ばれ、鎌倉時代に中国から入った紀州みかんの一種で、静岡のみかんの起源を知る上で貴重なもの。	昔は冬と春の変わり目を節分、立春を春の初日とし、一年の始まりは立春からと考えられていたそうです。そのため、節分が大晦日で立春が元日。年賀状に「迎春」や「初春」と書かれてるのは、その名残といわれています。	
1/5[木] 14:00～ 新春焼津寄席 春風亭小朝 桂宮治 翁家勝丸 ほか 焼津文化会館 4,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	3/16[木]～28[火] 9:00～17:00 第8回 伊豆ビエンナーレ2023 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211	2/23[木・祝] 15:00～ 富士宮市市制施行80周年記念 富士山の日 記念コンサート 富士宮市民文化会館 一般1,000円・高校生以下無料(全席自由) 【問】富士宮市富士山世界遺産課 tel.0544-22-1489
1/7[土]～3/5[日] 10:00～17:00 企画展「禪 ダルマさんが並んだ」 駿府博物館 500円、中学生以下無料 【問】駿府博物館 tel.054-284-3216	食べてびっくり!驚きの甘さ! ミネラルが豊富な土で育った箱根西麓三島野菜。三島人参もそのひとつで、驚くほど甘く、生でも十分おいしくいただけるそう。カロテンも豊富。三島人参をまるごと使用した三島にんじんジュースも要チェック。	2/26[日] 体験/10:00～14:30・公演/17:30～ 第1回こども舞台フェスティバル オーバートーン公演 富士宮市民文化会館 体験:無料(要申込) 公演:2,000円、3歳～小学生1,500円(要申込) 【問】富士宮こども舞台芸術表現会 tel.080-5169-2798 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237
	3/18[土] 19:00～ アクシスのタベ part176 ～フルーツ・チェロ・ピアノ編～ 伊豆の国市長岡総合会館アクシスカつらぎ 無料 【問】伊豆の国市長岡総合会館 tel.055-948-0225	
1/9[月・祝]・21[土] 12:00～、13:00～、14:00～、15:00～(各回20分程度) テーブルサイエンス 「パチッと静電気にご用心」 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	3/30[木]～6/27[火] 9:00～17:00 ナガシマ カツ展 ～金色のリアリズム～ 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211	2/26[日] 12:30～ 第9回沼津ジャズフェスティバル 沼津市民文化センター 1,500円 ※未就学児入場不可 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111
	中部 for Central	2/26[日] 14:00～ 伊豆の国寄席 林家たい平・柳家喬太郎・春風亭一之輔 三人会 伊豆の国市長岡総合会館アクシスカつらぎ S席(1階)3,600円、A席(2階)3,000円 【問】伊豆の国市長岡総合会館 tel.055-948-0225
1/14[土] 13:00～ 講演会 作曲家の視点から 静岡音楽館AOI 無料(要申込) 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	開催中～1/29[日] 10:00～19:00 杉浦非水 時代をひらくデザイン 静岡市美術館 一般1,300円、大高生・70歳以上900円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515	3/4[土] 14:00～ 沼津寄席 桂文珍 独演会 沼津市民文化センター S席3,600円、A席3,000円 ※未就学児入場不可 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111

1/21[土]～4/16[日] 9:30～16:30 近代館:特別展「梅原龍三郎と伊豆」 仏教館:企画展「上原コレクション名品選(仮)」 上原美術館 大人1,000円、学生500円、高校生以下無料 【問】上原美術館 tel.0558-28-1228	1/7[土]～2/12[日] 10:00～17:00(入館16:30まで) 乱世を駆け抜けた名刀 一戦国の動乱から徳川の時代へー 佐野美術館 一般・大学生1,100円、小中高校生550円 【問】佐野美術館 tel.055-975-7278	文化・芸術を通して 小さな幸せと出会う 新しい年の静岡
	1/12[木]～3/14[火] 9:00～17:00 所蔵名品展～長いトンネルを抜けて～ 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211	
1/22[日] 14:00～ 富士宮プレミアムコンサート合唱団 アンサンブル of トウキョウ 第12回新春コンサート ハイドン、バッハ 富士宮市民文化会館 指定席3,000円、自由席2,000円 【問】リアルネット tel.090-2947-8280(小林)		
1/26[木] 18:30～ 劇団四季ファミリーミュージカル 「人間になりたがった猫」 沼津市民文化センター S席:大人5,500円、小学生以下3,300円 A席:大人3,300円、小学生以下2,200円 ※公演当日3歳以上有料、2歳以下の着席鑑賞有料(膝上鑑劇無料) 【問】劇団四季 静岡オフィス tel.0570-008-110	1/14[土] 13:30～ フォレスタ 新春コンサート in 三島 ～人生にありがとう～ 三島市民文化会館 6,000円 ※未就学児入場不可 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455	開催中～1/10[火] 9:00～17:00 絹谷幸太・香菓子 二人展～万物の鼓動～ 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211
	だるま図の耳飾り 縁起物として飾られるだるま図。様々なだるま図があるようですが、耳飾りをしているものもあるそうです。耳飾りをしているのは修行中のだるま、耳飾りをしていないのは悟りを開いた後のだるま図ともいわれているそうです。	開催中～6/21[水] 9:00～17:00 「白・無色／赤のガラスー対比と対話」展 黄金崎クリスタルパーク 大人800円、小中学生400円、65歳以上700円 【問】黄金崎クリスタルパーク tel.0558-55-1515
2/12[日] 14:00～ 荒牧陽子×松浦航大 最強!!歌マネライブ 富士宮市民文化会館 沼津市民文化センター 3,500円(当日500円増) 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237	1/15[日] 14:00～ 第4回ぬまづニューイヤー・ガラコンサート 沼津市民文化センター 一般1,500円、高校生以下500円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111	1/3[火]・4[水] 11:00～、14:00～ お正月こども映画まつり 「それいけ!アンパンマン」 1/3(火) シャボン玉のブルン 1/4(水) リンゴぼうやとみんなの願い 三島市民文化会館 大人300円、中学生以下150円 ※未就学児膝上鑑賞無料 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455
七草、すべて言えますか？ 七草とは、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの7種類。平安時代、1月7日に無病長寿を願って食べる習慣があり、やがて、疫病予防・邪気払いのおまじないとして今の七草粥になったようです。	1/17[火] 19:00～ 令和4年度文化講演会 講師:池上彰 富士宮市民文化会館 500円 【問】富士宮市文化課 tel.0544-22-1106	1/4[水]～22[日] 10:00～17:00(入館16:30まで) 展示企画「建物と室礼」 2階特別公開 東山旧岸邸 大人300円、小中学生150円 【問】東山旧岸邸 tel.0550-83-0747
	1/21[土] 14:00～ 春風亭柳橋・三遊亭遊雀 二人会 富士宮市民文化会館 2,000円(当日500円増) 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237	根っこは辛いが花は美しい 世界農業遺産に認定されている伊豆・筏場(いかだば)のワサビ田。例年1月から3月にかけて、白くかわいい花を咲かせます。日本が誇るワサビ田へ、早春の到来を告げる花を愛でに出かけてみませんか。

2/18【土】 14:00～ 若手演歌歌謡ショー 森町文化会館 6,000円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111	1/15【日】 10:30～、14:00～ 親子で楽しむクラシック名曲コンサート こどもオペラ「ヘンゼルとグレーテル」 掛川市文化会館シオーネ おとな1,500円、3歳以上高校生以下1,000円 【問】掛川市文化会館シオーネ tel.0537-72-1234	3/11【土】 16:00～ 岩崎宏美コンサートツアー2023 焼津市大井川文化会館ミュージコ 6,800円 ※未就学児入場不可 【問】焼津市大井川文化会館 tel.054-622-8811
中田島砂丘で見つかった絶滅危惧種 日本三大砂丘のひとつ、中田島砂丘。浜松市の天然記念物に指定されている「アカウミガメ」の産卵地でもあるこの砂丘には、絶滅危惧種の甲虫「カワラハンミョウ」が生息し、地元の高校生と行政が保護活動に取り組んでいます。	①1/21【土】・②2/4【土】 ③3/11【土】 10:30～12:00 浜名湖サイエンスクラブ ①フグ②ノリ③クラゲ 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費100円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880	3/19【日】 10:00～15:30受付 おもしろ科学フェスティバル 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960
2/26【日】 10:30～12:00 ウォットラボ 透明骨格標本 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費1,000円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880		家康公ゆかりの「臥龍梅」 徳川家康が接樹したと伝えられる梅は、その姿から「龍臥梅」と呼ばれます。静岡市「清見寺」の庭に生き続ける銘木は、「龍臥して法の教えを聞くほどに梅花開く身となりにつけり」と、歌人と謝野晶子に詠まれています。
3/1【水】～6/18【日】 9:00～17:00 特別収蔵展 原田清人とその思いを受け継ぐ浜松の俳人たち 浜松文芸館 無料 【問】浜松文芸館 053-453-3933	①1/29【日】・②3/26【日】 10:30～11:30 ウォットファクトリー ①貝殻アクセサリー工作 ②フォトフレーム工作 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費200円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880	3/21【火・祝】 14:00～ 第8回市民吹奏楽団 マリナート・ウインズ×須川展也 静岡市清水文化会館マリナート 一般2,500円、学生1,500円、小学生無料 ※要整理券 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885
3/5【日】 9:30～ 令和4年度優秀映画鑑賞推進事業 御前崎なつかしの映画祭 御前崎市民会館 1日通し券 500円 【問】公益財団法人御前崎市振興公社 tel.0537-63-0195		西部 for Western
	1/29【日】 14:00～ 第26回 新春森町寄席 森町文化会館 4,500円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111	開催中～2/12【日】 9:00～17:00 収蔵展 浜松文芸館の宝物 新収集資料を中心に 浜松文芸館 無料 【問】浜松文芸館 053-453-3933
3/18【土】 10:30～11:30 バックヤードツアー 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費100円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880	花と光が織り成すファンタジー はままつフラワーパークの冬の風物詩、イルミネーション。100万球のイルミネーションや高さ8mのモミの木のツリーなど、花と光のファンタジーが楽しめます。大温室東側にある「虹の藤のトンネル」がシャッターポイント!	1/5【木】～20【金】 9:30～17:00(最終日は9:00～12:00) 子どもの市展 浜松市美術館 無料 【問】浜松市教育委員会 指導課 tel.053-457-2411
県内イベント情報はWEBでご覧いただけるようになりました! 	2/12【日】 14:00～ 劇団たんぽぽ公演 in シオーネ 「あやうし!ズッコケ探険隊」 掛川市文化会館シオーネ 一般1,500円、3歳以上中学生以下1,200円 【問】掛川市文化会館シオーネ tel.0537-72-1234	1/7【土】・14【土】・2/18【土】・3/4【土】 10:30～11:30 エサやり体験 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費100円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880
2/14【火】～3/15【水】 9:30～17:00 浜松市 第70回市展 浜松市美術館 無料 【問】浜松市美術館 tel.053-454-6801	森の恵みをいただく 冬のお楽しみ、ジビエ料理。野山を駆け、木の実を食べて育ったイノシシやシカ、ウサギなどの肉は、牛肉や豚肉とは一味違った野趣あふれる味わい。伝統的なマタギ料理から現代風の創作料理などを楽しんでみては。	

2/25【土】 14:00～ 秋川雅史 千の風になってコンサート 聴いてよく分かるクラシック3 焼津市大井川文化会館ミュージコ 4,000円 ※未就学児入場不可 【問】焼津市大井川文化会館 tel.054-622-8811	2/1【水】 14:00～ 白石光隆 Jazzな Piano Concert 焼津文化会館 1,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	1/14【土】 15:00～ ディオティマ弦楽四重奏団 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200
2/25【土】～5/21【日】 9:00～16:30 特別展 静岡に眠る弥生時代の開拓者 静岡市立登呂博物館 一般300円、高大生200円、小中生50円 市内小中学生・市内在住70歳以上・未就学児無料 【問】静岡市立登呂博物館 tel.054-285-0476	2/4【土】 15:00～ 子どものためのコンサート サクソフォン・ワンダーランド ～アニメ映画音楽とミュージカルの名曲をサクソフォン四重奏で綴る～ 静岡音楽館AOI 一般2,500円、22歳以下1,000円、親子券3,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	1/21【土】 15:00～ 日本歌曲の系譜Ⅱ ～橋本国彦、平井康三郎、伊福部昭とその周辺～ 静岡音楽館AOI 一般3,500円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200
		静岡県の郷土伝統工芸品「藤枝桐箆笥」 3代将軍徳川家光による浅間神社の造営の際に全国から集められた木工、漆工、彫刻師などの技術者の一部が藤枝に移り住み、衣料箱、箆笥をつくり出したことに由来します。耐湿性・耐熱性に優れ、防虫効果もある逸品です。
3/2【木】 20:00～ コンテンポラリーダンス 新進振付家育成事業2022 Choreographers 2022 静岡公演 ケダゴロ「ビコーズカズコース」 Because Kazcause 静岡市清水文化会館マリナート 3,000円、25歳以下1,000円 ※当日500円増 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885	2/11【土・祝】～3/26【日】 10:00～19:00 東海道的美 駿河への旅 静岡市美術館 一般1,300円、大高生・70歳以上900円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515	1/22【日】 10:00～、14:00～ ミュージコ冬の映画劇場 「それいけ!アンパンマン ドロリンとバケ～るカーニバル」 焼津市大井川文化会館ミュージコ 500円、1歳以下無料 【問】焼津市大井川文化会館 tel.054-622-8811
	2/12【日】 15:00～ スギテツ with 栗コーダーカルテット 焼津文化会館 一般3,000円、高校生以下1,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	
3/11【土】・12【日】 12:00～16:00(15:30最終入場) サイエンスピクニック2023 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960	静岡浅間神社の「鬼やらい神事」 静岡市指定の無形民俗文化財であり、特殊神事として伝承されています。宮司らが太鼓、鉦、鈴をうちながら、世話人参列者や一般参拝者が鬼と書かれた戸板を「おにやらぼう」で叩き続け、悪鬼を追いはらいます。	1/22【日】 15:30～ STC presents めざましクラシックス in 焼津 焼津文化会館 6,000円(友の会5,500円) 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111
	2/16【木】 11:30～12:30 ランチタイム・コンサート 三村梨紗 トランペットの輝き 静岡音楽館AOI 一般1,800円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200	1/25【水】 14:00～ 大井川寄席一月公演 柳家あお馬・三遊亭ぐんま 福寄席 焼津市大井川文化会館ミュージコ 500円 ※未就学児入場不可 【問】焼津市大井川文化会館 tel.054-622-8811
南アルプスの伏流水から仕込まれる銘醸 名水と職人の優れた技術で醸される静岡県は地酒の銘醸地。水質に優れた水から多くの蔵元があり、中部地区だけでも13軒あります。南アルプスで育まれた豊富な水が、今も昔も中部地域の酒造りを支えています。	2/19【日】 ①10:30～、②13:00～ やいづシネマ劇場 ①「青い山脈」②「嵐を呼ぶ男」 焼津文化会館 500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111	1/28【土】・29【日】 11:00～、14:00～(各回30分程度) サイエンスショー 「小さな力で動かせ!～てこのはたらき～」 静岡科学館る・くる 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960
3/11【土】 14:00～15:00 オルガン¥500コンサート スプリング・コンサート 新山恵理 静岡音楽館AOI 一般500円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200		1/28【土】 16:30～・29【日】 13:00～ 劇団四季ファミリーミュージカル 「人間になりたがった猫」 静岡市清水文化会館マリナート S席:大人5,500円、小学生以下3,300円 A席:大人3,300円、小学生以下2,200円 【問】劇団四季 静岡オフィス tel.0570-008-110

世界文化遺産「富士山」を「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」「深く究める」 静岡県富士山世界遺産センター

センター開館5周年記念展
本展示会で初公開

はくし 博士の愛した富士山 フレデリック・スタールと くも 九十九コレクション

富士山を愛した「お札博士」スタールの生涯、その通訳をつとめた九十九黄人との交流、スタールのコレクションを引き継ぎ、自らも収集を続けた黄人の富士山関係資料コレクションを初公開する展示会です。

令和4年12月23日(金)
～令和5年2月5日(日)

観覧料／常設展観覧料でご覧いただけます。

展示の見どころは？

お札博士とフレデリック・スタール ～研究に捧げた生涯～

フレデリック・スタール (1858年9月2日～1933年8月14日)

1904年2月に初来日、以後1933年まで16回に及び、同年8月東京で世界、富士山頂へも5回登山しています。自分の名をもじった「寿多有」と刷られた千社札を各地の神社仏閣に貼ってまわったとされ、「お札博士」と呼ばれるとなっています。須走口との関係が深く、慰霊碑が建てられており、遺骨もおさめられています。



スタール博士の慰霊碑 小山西須走地区

スタール博士と九十九黄人 ～交流とコレクション～

九十九黄人(豊勝) (1894年7月17日～1998年2月10日)

早稲田大学在学中よりスタール博士の通訳をつとめています。黄人がスタール博士の調査に同行した際に収集した資料、また博士の呼びかけによって集められた民俗学、民族学関係の博物館資料を陳列する施設として、昭和3年(1928)に東洋民俗博物館を奈良市に開設しています。



東洋民俗博物館 奈良市あやめ池地区

生前のスタール博士が映る現存唯一の撮影動画(昭和5年東洋民俗博物館スタール銅像除幕式・九十九黄人宅撮影動画)をデジタル化し、会場で公開します！



大高 康正
静岡県富士山世界遺産センター教授



九十九黄人富士山資料コレクション ～新発見・展示会初公開の概要～

黄人が収集した資料の中には富士山関係資料も数多く含まれていましたが、これらは個人所蔵分として九十九邸の裏山に建てられた富士文庫に保管され、現在まで一般公開されることはありませんでした。今回の展示会では、黄人の子息弓彦氏の御協力により、スタール博士のコレクションを引き継いだ九十九黄人氏の富士山関係資料コレクションを初めて公開します。



板マネキ(スタールオリジナル)

関連イベント

公開講座

会場：センター研修室
日時：令和5年1月15日(日)
午後2時～午後3時
講師：九十九弓彦
(東洋民俗博物館理事長)
論題：「父、九十九黄人を語る」
※事前予約制、定員30名。
詳細はセンターHPをご覧ください。

ギャラリートーク

会場：センター2階企画展示室
日時：令和4年12月24日(土)・25日(日)
令和5年1月14日(土)
令和5年2月4日(土)
各日午後1時～、午後3時～
(各回30分程度)
※当日参加制(受付なし)、定員15名。
詳細はセンターHPをご覧ください。

考えることで気づく驚きや発見を大切にしたい「思考するミュージアム」 ふじのくに地球環境史ミュージアム

私たちの身近に生息しているシカについて
もっと詳しく知りたくありませんか？

角の魅惑 日本のシカ化石とニホンジカ

ニホンジカはいつ、どこからやってきたのか。シカの祖先は何年前に起源して、どんな姿をしていたのか。日本最古級のシカから現代のニホンジカに至る2000万年間のストーリー。シカの角に魅了された古生物学者たちが、シカの進化とニホンジカを大解剖します。

開催中～令和5年5月7日(日)

企画展観覧料／一般500円(400円)、小学生以上大学生以下・70歳以上200円(100円)
※(1)は団体料金 ※団体は20名以上 ※障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料となります。※常設展も併せてご覧いただけます



化石を発掘して調べることで、生物の進化と生息環境を明らかにできます。いま、私たちが抱えるシカ問題と向き合うためにも、シカについてもっと知ることのできる展示を目指しました。

展示の見どころは？

迫力の全身骨格、 日本のシカ化石が大集結

岐阜県で見つかった最古のシカ類(初公開)、静岡県に生息していたヤベオオツノジカやカズサジカ、初期のニホンジカなどシカ化石が勢ぞろい。実物の化石と復元全身骨格を観察すれば、シカ角の進化の過程がわかります。

ヤベオオツノジカの全身骨格(群馬県立自然史博物館蔵)



群れるニホンジカ、 変わりゆく自然環境

シカが増え過ぎると大地が枯れ、生態系に影響を及ぼします。ニホンジカや世界のシカの角・骨格・内臓標本を観察して体のしくみを知り、シカと人の関係(シカ問題)について考えてみましょう。



ニホンジカの頭骨



西岡 佑一郎
ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授

関連イベント

子供から大人まで楽しめるシカ講座

会期中はシカ関係のイベントが盛りだくさん。子供たちも楽しめる骨を使ったワークショップやギャラリートーク(展示解説)、研究員と気楽に話せるサイエンスカフェ、しっかり学習したい人には講演会など色々開催します。

※イベント内容はウェブサイトをご覧ください。

イベント「触って学ぼう哺乳類の骨のしくみ」



企画展オリジナルグッズをゲットしよう！

絶滅シカ類やキャラクターのイラストをプリントした限定グッズを発売します。本展のためにシカ化石の研究者と古生物復元画家がコラボして描き下ろしたイラストです。企画展の思い出にぜひお求めください。

※グッズの内容は当館図鑑カフェまたは特設ウェブサイトをご覧ください。



キャラクターの一例

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止または内容を変更して実施する場合がございます。

静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 電話番号／0544-21-3776 開館時間／9:00～17:00(最終入館16:30)(7・8月 9:00～18:00 最終入館17:30)
休館日／毎月第三火曜日、施設点検日、年末(2022/12/27～31)
観覧料／一般300円、団体(有料観覧者20名以上)200円/人、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等(要証明)無料



ふじのくに地球環境史ミュージアム

静岡市駿河区大谷5762 電話番号／054-260-7111 開館時間／10:00～17:30(最終入館17:00)
休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始(2022/12/26～2023/1/1)
常設展示観覧料／大人300円、団体(20名以上)200円/人、大学生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。
展示室1・2と図鑑カフェ、キッズルーム(要事前予約)は無料でご利用いただけます。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講演会&ギャラリートークは変更・中止となる場合があります。最新の情報はミュージアム公式ホームページ(<http://www.fujimujim.jp>)でご確認ください。

SPAC秋→春のシーズン2022-2023

新春のSPACは世界の名作を連続上演！
シェイクスピアの歴史劇と、宮城聡が手掛けるイプセンの代表作



『リチャード二世』イメージビジュアル 撮影：今井智己

#3 リチャード二世 〈新作〉

目的のためなら手段を選ばない暴君と、権力の座に上りつめる新しい王。暴君を殺したのはいったい誰か——。シェイクスピアの歴史劇の面白さがぎゅっと詰まったイングランド王の物語。名セリフが雨のように降りそそぎ、虚言・疫病・戦争に今なお翻弄され続ける現代を照らし出す。

1/14[土]・15[日]・21[土]・22[日]・28[土]・29[日]
各日14:00開演 会場：静岡芸術劇場

演出：寺内亜矢子
作：ウィリアム・シェイクスピア
訳：小田島雄志
出演：阿部一徳、石井萌水、大高浩一、片岡佐知子、木内琴子、小長谷勝彦、永井健二、ながいさやこ、本多麻紀、牧山祐大、宮城嶋遥加、吉植莊一郎、渡辺敬彦 [五十音順]



『人形の家』宣伝写真 加藤孝

#4 人形の家 〈新作〉

もうすぐクリスマス、ノーラは浮かれていた。可愛い我が子に、やさしい夫ヘルメル。夫の仕事も順風満帆だった。だが、ヘルメルの部下クログスタの訪問によってある重大な秘密が暴かれ、ノーラは自分が可愛いがられるだけの「人形」であつたと気づき……。女性解放運動にも大きな影響を与えた、「近代演劇の父」ヘンリック・イプセンの傑作社会劇。舞台をヨーロッパから昭和10年(1935年)の日本に置き換えた、宮城聡による大胆な新演出に注目が集まる！

2/11[土・祝]・12[日]・19[日]
3/4[土]・5[日]・11[土]・12[日]
各日14:00開演 会場：静岡芸術劇場

演出：宮城聡
作：ヘンリック・イプセン
訳：毛利三彌
出演：たきいみき、加藤幸夫、武石守正、葉山陽代(鈴木陽代改メ)、bable、森山冬子

好評販売中 「SPAC秋→春のシーズン」公演チケット

チケット 料金	一般 学割 学生割	公演 回数	料金	チケット 購入方法	電話予約 WEB予約	SPACチケットセンター TEL:054-202-3399 https://spac.or.jp/ticket
		1公演	4,200円			
		1公演	3,700円			
		1公演	3,500円 [満60歳以上の方]			
		1公演	2,000円 [大学生・専門学校生]・1,000円 [高校生以下]			

SPAC人材育成事業

第24回「すばっくこども大会」 出演者募集

オンリーワンなパフォーマンス集まれ！静岡芸術劇場の大舞台で
子どもたちの魅力的な個性を披露してみませんか？

発表日 3/18(土) 応募受付開始 1/4(水)
会場 静岡芸術劇場 応募締切 1/31(火)消印有効
応募対象 静岡県在住の小学生、1組3名以内
お問い合わせ SPAC-静岡県舞台芸術センター TEL:054-203-5730

2023年度SPACの会 会員募集中！

年間3回ご招待など、お得な特典がございます。

年会費

個人会員：10,500円
ゆうゆう個人会員：9,500円

『人形の家』に
先着50名様を
ご招待♪

詳細はSPACチケットセンター、または公式サイトにて。
お問い合わせ：SPACチケットセンター
TEL:054-202-3399

公演の最新情報は、SPAC公式サイトをご確認ください。【SPAC公式サイト】<https://spac.or.jp>



Twitter 公式アカウント
Facebook公式ページ

@_SPAC_

Instagram 公式アカウント

@spac_shizuoka

<https://www.facebook.com/SPACshizuoka>



撮影：牧田奈津美 (F4,5)



寺内亜矢子(てらうち・あやこ)

1997年、ク・ナウカ シアターカンパニーにて演劇活動開始。2007年の劇団休止後は、SPACを主な拠点に国内外の舞台に出演するほか、東京藝術大学にて身体表現教育に携わる。俳優・演出・演奏・音楽構成・ドラマトウルク・通訳・翻訳等、舞台芸術創作に関わるもろもろを手がける国際派マルチプレイヤー。SPACでの演出作に「おっと ええっと ええじゃないか」(ふじのくに野外芸術フェスタ2020 in 掛川)、『忠臣蔵2021』(共同演出)、『三原色』(SPAC演劇アカデミー第1期生成果発表会)などがある。

『リチャード二世』——

遠い昔の遠い国の出来事ではなく、今につながる物語として

シェイクスピアの隠れた名作と言われる『リチャード二世』は、暴君・リチャード二世の没落と新しい王の誕生を描いた歴史劇。2021年、リーディング作品※として上演し好評だった本作が、年初を飾る新作公演として静岡芸術劇場に登場する。

リーディング上演に続き舞台の演出を手がけるのは、SPAC俳優として、また『忠臣蔵2021』の共同演出など演出家としても活躍目覚ましい寺内亜矢子。本作が「SPAC秋→春のシーズン」での初演出となる寺内に、創作への想いを聞いた。

※俳優が台本を手にして、朗読するスタイルの上演形式

——シェイクスピアの歴史劇というと、難しいイメージもありますが、『リチャード二世』の魅力とは？

私も「難しい」とずっと思っていて、好んで読んできたタイプの戯曲ではなかったんです。2021年のリーディング企画の時に『リチャード二世』はどうかと提案されて、初めて読んでみたという感じでした。イギリスの歴史に詳しいわけでもないし、シェイクスピアの専門家でもない。どんな感じなのかな？と思って読み始めてみたら、面白かったですよね、すごく。何が面白かったかというと、「あ、人間ってあんまり変わってないなって」。

一幕一場で裁判が行われているん

ですが、それが裁判というか、言いたいことを言っておとす果たし合い、みたいなところから始まるんです。お互いが主張して、決闘して、勝ったものが正義。現代人の常識からすれば「裁判って、証拠を集めたり証人を呼んで『どちらが本当なのか』を調べたりするんじゃないの？」と思うんですが、結局力で勝ったものが正義っていうところからお話がスタートしていく。でも、これって昔だけのことじゃなくて、現代でも、例えばSNSで「いいね」をたくさん得た人が勝ちとか、正しいかどうかよりも争って勝ったものが正しいとされるようになる、という構造自体は全く変わっていないんじゃないかと思いました。歴史劇ではあります、今にちゃんとつながるお話だからずっと残っているし、今やる価値があるんじゃないかと思っています。

——平日に行く「中高生鑑賞事業」では、たくさんのお客さんにも来てくれます。

歴史に学ぶ、過去に学ぶ、ということ、私たちが誰にもとても大切なことだと思っています。描かれている時代や国は離れているけれども、テーマは私たちが今抱えているものと変わらない。特に若い人たちにはそのことに気付いてほしいと思っています。じゃあどうしたらそれがシェイクスピアの歴史劇から見えてくるのか、どういう仕掛けをつくったら届くのか、俳優と試行錯誤しながら創作しています。

——俳優として共演してきたメンバーとの稽古、手応えは？

長年一緒にやってきたメンバーなので安心感があります。「この人ならこれは絶対やってくれるはずだ」というのもあるし、「今まであまり見たことないけど、実はこの人のこういうところが素敵」という意外な部分も見せていきたい。よく知っているからこそできる演出をお見せできたらいいなと思います。何より私自身が俳優一人ひとりのファンなので、SPAC俳優の持ち味や幅の広さをお客様に見てほしいですね。

——お客様に向けてメッセージをお願いします。

遠い昔の遠い国の出来事ではなく、今生きている私たちとダイレクトに繋がっているお話として観ていただけたらいいと思います。ぜひ静岡芸術劇場に足を運びただけると嬉し



劇場での『リチャード二世』稽古の様子(7月)

近代の誘惑—日本画の実践

静岡県立美術館のコレクションに個人所蔵の重要作を交え、公開前に出展作品の一部を紹介しながら、近代というめまぐるしい変動

明治から昭和にかけて描かれた日本画をご紹介します。この展覧会。の時代に実践された日本画の成果を誌上先行公開します。

「日本画」とは、明治時代に新しく作られた言葉です。

『江戸から明治』へ。 大きく転換する時代の中で絵画はどう変わった？



狩野雅信「花鳥図」 静岡県立美術館蔵



渡辺省亭「十二月花鳥図」より四月 個人蔵

主な出品作家／狩野芳崖、菊池容斎、富岡鉄斎、鈴木松年
下条桂谷、荒木十畝、下村観山



鈴木松年「神武天皇・素戔鳴尊図屏風」より素戔鳴尊図 個人蔵

明治になったからといって、何もかもが一気に変わってしまったわけではありません。江戸時代から受け継がれる伝統は、新しい時代に花開く文化の豊かな土壌となりました。江戸から明治へのつながりをご覧ください。展覧会は江戸以来の画壇の正統を担ってきた狩野派の作品からスタートします。

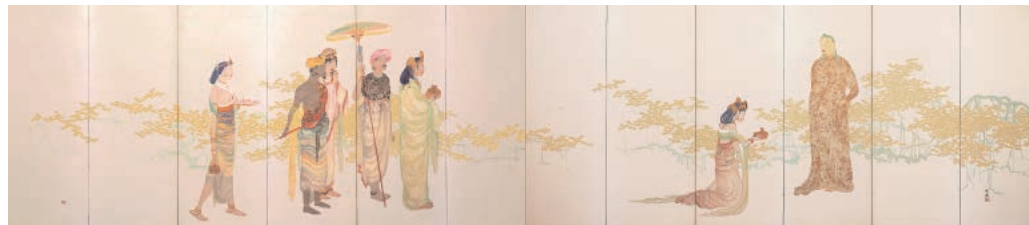
一方、展覧会前半の大きな見どころとなる渡辺省亭「十二月花鳥図」は、西洋絵画の学習で身に付けた立体感や陰影表現をもとに、伝統的な花鳥画を新鮮な感覚で描いたもので、新しい時代の到来を告げる象徴的な作品といえます。全十二幅を一堂にご覧いただける貴重な機会です、ぜひご堪能ください。

個性や自由が重んじられた『大正時代』の日本画の成果は？

主な出品作家／竹内栖鳳、山元春挙、寺崎広業、今村紫紅、近藤浩一路、土田麦僊、村上華岳



横山大観「群青富士」 静岡県立美術館蔵



尾竹竹坡「乳供養」 個人蔵

静岡県立美術館コレクションの中でも人気の高い横山大観「群青富士」。単純化された色と形による明快な表現が、強い印象を与える作品です。大正時代の画家が熱心に学んだ俵屋宗達や尾形光琳の研究成果であるとともに、澆漓とした雰囲気がこの時代らしさを感じさせます。

個性が重んじられた時代を象徴的に表す作品として、尾竹竹坡「乳供養」にもご注目ください。インドの石窟壁画などを研究してお釈迦様のエピソードを絵画化しますが、日本画には珍しいパステル調の色彩やデフォルメされた人物の風貌など、アクの強い表現で独自の世界を作り出しています。

激動の『昭和』。 日本画と時代との関わりは？

主な出品作家／鏑木清方、安田靉彦、奥村土牛、中村岳陵
福田平八郎、野島青茲、秋野不矩

昭和初期の作品をご紹介します。松岡映丘「今昔ものがたり伊勢図」は、昭和5年（1930）にローマで開催された日本美術展の出品作です。この展覧会は、日本から派遣された職人が会場内に床の間などの和風の室内を再現し、そこに第一線で活躍する日本画家の力作177点が展示されるという、非常に大がかりなものでした。脈々と受け継がれる文化的な伝統に裏打ちされ、かつ世界基準で通用する美術としての「日本画」。その成果を華々しく披露する場であり、遅れて国際社会にデビューした日本が、近代国家として確かな文化力をアピールする機会でもありました。

王朝文学に基づく優雅な主題を豊かな色彩で描き上げた松岡映丘の掛幅は、十分にその役割を果たし、ローマの人々を魅了したことでしょう。作品の高雅な世界を味わっていただくとともに、その時代背景にも思いをはせていただければ幸いです。



松岡映丘「今昔ものがたり伊勢図」 静岡県立美術館蔵



川合玉堂「田植図」 静岡県立美術館蔵



松林桂月「夜桜（春宵花影）」 個人蔵

近代の誘惑—日本画の実践

会 期：2月18日(土)～3月26日(日) 月曜休館

開館時間：10:00～17:30(展示室の入場は17:00まで) 観覧料：一般800円(600円)、70歳以上400円(300円) ※()は前売りおよび20名以上の団体料金
※収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。
大学生以下無料

主 催：静岡県立美術館 ※展覧会および関連イベントについての最新情報は、当館ウェブサイトをご覧ください。

関連イベント

館長美術講座「画家たちは何に誘惑されたのか」

講師：木下直之(当館館長)

日時：3月12日(日) 14:00～15:30

会場：当館講堂

スライドトーク「日本画の実践を読み解く」

担当学芸員が出品作について解説します。

日時：3月5日(日) 14:00～15:00

会場：当館講座室

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
総務課Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
学芸課Tel.054-263-5857 Fax.054-263-5742

ウェブサイト…<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館

検索

グランシップ企画事業1月のチケット発売・申込受付開始情報

2022年12月現在の情報です。新型コロナウイルスの影響により、公演やイベントを急遽、変更・中止する場合や、発売日を変更する場合があります。

グランシップ文化講座 「新型コロナウイルスとは何か」

3/25(土) 13:30～ 11階会議ホール・風／オンライン

〈会場・オンライン受講同額〉
一般1,000円 学生500円(28歳以下) ※高校生以下無料
※事前申込制 1/20(金)より受付開始(先着順、定員になり次第締切)

【申込方法】

①会場で参加…専用WEB申込フォーム、または電話(当日支払い)

②オンライン…グランシップオンラインチケット販売で申込(カード決済のみ)

第1期グランシップ登録アーティスト ファーストイヤー公演

あなたと出会うコンサート

3/18(土) 14:00～ 6階交流ホール

入場無料 ※3歳以下入場不可
※事前申込制 1/10(火)より受付開始(先着順、定員になり次第締切)

【申込方法】専用WEB申込フォーム、または電話

TICKET

グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。(ご購入の際には、友の会へのご入会がオトクです。)

グランシップWEBサイトから

 <https://www.granship.or.jp/visitors/>

 <https://ykk1.ka-ruku.com/granship-s/>



パソコンまたはスマートフォンで、グランシップWEBサイトのトップページの「チケット」から、空席状況に応じてお好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)

チケットの受取

コンビニ(セブンイレブン、ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料420円)、電子チケット(手数料無料)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

お電話で



グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000(10:00～18:30)※休館日を除く

チケットの受取 コンビニ(ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料420円)、
グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で



グランシップ内チケットセンター窓口(10:00～18:30)※休館日を除く

チケットの受取 お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡しします。

グランシップ友の会 法人会員

〈特別法人会員〉

静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社 株式会社静岡銀行

〈一般法人会員〉

[Media]

株式会社テレビ静岡 静岡エフエム放送株式会社 株式会社ことのは社

[Manufacture]

ダイドードリンコ株式会社 丸茂電機株式会社 SUS株式会社

[Service]

株式会社ステージ・ループ 静岡県ビルメンテナンス協同組合 静岡信用金庫 株式会社ピーエーシー

株式会社イノウエテクニカ 株式会社日本平ホテル 株式会社コアズ 学校法人常葉大学

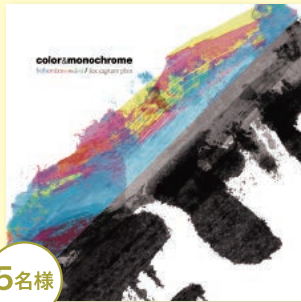
株式会社東京企画装飾静岡 国立大学法人静岡大学 有限会社近藤リース 株式会社望月商事

PRESENT 『GRANSHIP』vol.32 読者アンケートプレゼント

bohemianvoodoo/fox capture plan メンバーサイン入りCD "color&monochrome"

『GRANSHIP』vol.32のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、3/4(土)開催の「グランシップ ジャズ・ロック ライヴ fox capture plan×bohemianvoodoo」に登場する両バンドメンバーサイン入りCDを5名様にプレゼントいたします。

郵便はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りいただくか、グランシップHPの専用申込フォームよりエントリーください。



5名様

【1】今号でよかった記事は? 【2】本誌へのご意見・感想をお聞かせください。
アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報
はプレゼントの発送にのみ使用します。締切は2023年3月5日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先

〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.32 プレゼント係

メール宛先

info@granship.or.jp
(件名に、『GRANSHIP』vol.32
読者アンケート係とご記入ください)



グランシップHPの専用申込フォームはこちら

編集後記

冬の晴れた日には、グランシップ10階展望ロビーからは雪化粧をした富士山がよく見えます。東静岡駅の改札を出たコンコースや、グランシップ西側駐車場で、東を向くとグランシップの建物と美しい富士山と一緒に望むことができ、到着した瞬間からわくわくした気持ちになります。公演やイベントの前に、ぜひ景色にもご注目。

グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動

ウィーン木管五重奏団 合同練習

【グランシップ出前公演(浜松市)】

「ウィーンの風～ウィーン木管五重奏団」

講師:ウィーン木管五重奏団メンバー



グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

たくさん子どもたちに
本物の芸術をお届けする、
アウトリーチ活動を実施しています。

合同練習 2022.10.7(金)
公 演 2022.10.13(木)
静岡県立浜松江之島高等学校
芸術科音楽専攻、
浜松学芸高等学校
芸術科音楽コース生徒 計24人

グランシップが一流のアーティストとともに県内の学校へ出向くアウトリーチ活動。今回は、10月13日(木)に行われた「グランシップ出前公演(浜松市)」「ウィーンの風～ウィーン木管五重奏団」の公演での共演に向けて、ウィーンを拠点に活躍する演奏家が、県立浜松江之島高等学校芸術科音楽専攻、浜松学芸高等学校芸術科音楽コースの生徒にレッスンを実施しました。

ウィーンの演奏家と静岡の高校生との音楽交流を目的とした本事業は、当初、2020年度に実施を計画していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、3年越しの実現となりました。

ウィーンの演奏家と高校生の共演曲は、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の第1楽章&第3楽章と「観光列車にて」。それぞれに練習を重ねて臨んだ公演1週間前の出演者全員による合同練習では、クラリネット奏者でウィーン国立音楽大学教授でもあるクリストフ・ツィムバー氏より、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の出だしの1音から細部に至るまで丁寧なアドバイスを受けました。他のメンバーも含め、ウィーンの演奏家によるレッスンはすべて英語で行われましたが、身振り手振りを交えながら、生徒らに寄り添うように、より良い演奏へと導くべく熱心に伝えられました。生徒たちも、真剣な眼差しで彼らの言葉に耳を傾け、その熱意に応え演奏で理解を示すように、指摘されたことを演奏に反映。その場には通訳もいたのですが、通訳を介さず、最後まで直接の対話で「ミニセッション」を取りながら演



アドバイスもおもしろくて、
雰囲気も音もすごかった。(生徒)



【本番後】

生徒たちは、本場の演奏を目の当たりにして感激していた。
ぜひ今後も交流ができればありがたい。(先生)

奏が磨き上げられていきました。

公演当日、生徒たちは緊張しながらも練習の成果を発揮し、ウィーンの演奏家とも息のあった素晴らしい演奏を披露しました。演奏を終えた後、生徒の一人は「本番は緊張したが、一流の奏者と共演することができ、非常に勉強になった」と笑顔でインタビューに答える場面も。終演後舞台裏で、生徒たちは喜びや興奮を隠しきれない様子で、公演の成功をウィーンの演奏家たちと分かち合い交流を深めていました。海外の一流奏者による直接のレッスンや音楽を通して交流する機会は、生徒たちにとって、かけがえのない経験となったのではないのでしょうか。

これからもグランシップは、地域や学校と連携しながら、子どもたちが本物の芸術に接する機会を県内各地へお届けしていきます。



生徒たちは指導にすぐ反応してくれた。
共演できることはとても嬉しい。
(フルート:マティアス・シュルツ)